

わが市わが町 相模原市

相模原市は、神奈川県北西部の東京都心から概ね30km圏内にあり、多様な都市機能やJAXA（宇宙航空研究開発機構）などの先進的な施設を持つ一方で、首都圏最大級の宮ヶ瀬湖や丹沢山、陣馬山など、豊かな水と自然環境を併せ持つ、潤いと活気に満ちた「潤水都市」です。

本市は、製造業が集積する国内有数の内陸工業団地として発展を遂げ、首都圏南西部における「広域交流拠点都市」として、圏央道やリニア中央新幹線神奈川県駅の整備などによる交通利便性の飛躍的な向上を生かした、ロボット産業を中心とする新たな産業の創出、様々な産業の連携・交流による持続的な発展に取り組んでいます。

<さがみはら森林ビジョン>

本市では、市域の約6割を占める豊かな森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくため、平成22年度に「さがみはら森林ビジョン」を策定しました。

森林ビジョンでは、森林が市民一人ひとりにとって『知って、使って、身近になる』ために、「市民への情報提供」、「環境教育の推進」、

「市民と森林の接点づくり」、「木材等の利活用の推進」、「森林環境の保全・整備」の5つの基本方針を定め、実現に向けて様々な施策を展開しています。

<（仮称）相模原市市民の森>

森林ビジョンの基本方針のひとつである「市民と森林の接点づくり」として、市民の主体的な森林体験活動を通じて自然環境に対する意識の醸成や林業の普及啓発を図る「（仮称）相模原市市民の森」の整備に取り組んでいます。

豊かな自然環境と観光資源や歴史的な史跡に恵まれた緑区の石老山（せきろうざん）周辺に「多様な主体で育む交流発展型市民の森」をテーマとして、ソフト基盤の整備や、活動を支援するためのハード整備の考え方などを盛り込んだ基本計画を平成29年3月に策定し、事業を展開しています。

<初めての市民の森イベント>

平成29年11月19日（日）、「市民の森」の初めての森林体験イベントを実施しました。

このイベントは、NPO法人との協働事業で立ち上げた『市民の森クラブ』の主催によるもので、

18名の参加者は、間伐・枝払いなどの林業体験をはじめ、ガイドの案内による奇岩怪石や紅葉の鑑賞など森林散策を満喫しました。



<力を合わせて木を倒そう>



<見たこともない巨大な岩>



<チェーンソーで彫刻づくり>

また、枝えんぴつや竹人形などを作成する「森のクラフト」のほか、チェーンソーによる彫刻の実演なども行いました。

今後も様々な活動団体と連携しながら、より多くの皆様に多様な活動プログラムを提供できるように取り組んでまいります。

（相模原市 環境経済局 経済部 津久井地域経済課）